

漁獲量があったと考えるのが妥当のようである。

② トビイカ釣り漁業に出漁した漁家数

56年に漁協のセリ市場へトビイカを搬入した漁業者は96人であった。このことから、少なくとも漁家の半分はトビイカ釣りに出漁したことになる。

しかし、個人別の搬入日数をみると、個人により大きな差があった。96人の漁業者のうち、搬入日数が10日未満の人は68人、10～19日の人が18人、20～29日の人7人、30～31日の人3人であった。この数字が、トビイカ釣り漁業の出漁日数が少ないことを意味するのか、それとも、トビイカをセリ市場へ搬入する割合が少ないことを意味するのかは、明らかでないが、後に述べるように、恐らくその両方を意味するように思われる。

表9は漁業者A、B、Cの出漁状況とセリ市場へのトビイカ搬入状況を調査した結果である。この3人はいずれも出漁日数が比較的多い方の漁業者で、トビイカ釣り漁業に従事することも多い方に属すると言われている。使用漁船はいずれも1～2トンのサバニ漁船である。

表9から、久米島のトビイカ釣り漁業者について次のようなことが分る。

- (1) トビイカ漁業のかたわら、ひき縄やさし網などの他の漁業にも出かけるが、その比率は時期及び漁業者によって異なる。

表9 トビイカ釣り漁業者の出漁状況 (昭和56年)

漁業者	A						B					
	8月	9月	10月	11月	12月	計	8月	9月	10月	11月	12月	計
全出漁日数	18	16	16	22	16	88	19	18	19	19	23	98
トビイカ釣り	18	16	15	17	11	77	7	10	7	16	4	44
ひき縄	—	—	1	5	5	11	12	8	7	3	11	41
刺し網	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	8	13
トビイカ搬入日数	8	9	5	6	1	29	3	4	0	1	0	8
搬入日数の割合(%)	44	56	33	35	9	38	43	40	0	6	0	18

漁業者	C						3人の合計					
	8月	9月	10月	11月	12月	計	8月	9月	10月	11月	12月	計
全出漁日数	20	22	17	24	14	97	57	56	52	65	53	283
トビイカ釣り	8	22	17	22	12	81	33	48	39	55	27	202
ひき縄	12	—	—	2	2	16	24	8	8	10	18	68
刺し網	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	8	13
トビイカ搬入日数	3	13	8	1	0	25	14	26	13	8	1	62
搬入日数の割合(%)	38	59	47	5	0	31	42	54	33	15	4	31